

## ワークショップ「科学の不定性と社会—法、技術、教育」

主催：JST-RISTEX プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループ

日時：2013年2月16日（土）：11時～19時10分

2月17日（日）：9時30分～13時

（希望者は14時～18時までインフォーマルセッション）

会場：〒606-8501 京都市左京区吉田本町（京都大学本部構内正門正面）

京都大学時計台記念館 会議室3

### ◆2月16日（土）

11:00～ 京都大学時計台記念館 会議室3		
11:00～12:00	自己紹介	参加者全員
12:00～12:40	趣旨説明を兼ねて（科学の不定性について）	平田光司(総合研究大学院大学), 本堂毅(東北大)
12:40～13:00	議論	
13:00～14:00	昼食	
14:00～15:00	「裁かれた科学者たち：ラクイラ地震裁判で問われたこと」	瀬戸一 (東大地震研究所)
15:10～15:40	「科学的不定性と法：科学に欠けていること，法に欠けていること」	渡辺千原 (立命館大学法学部)
15:40～16:00	「法科学と教育：専門知の理解と利用のために」	鈴木舞 (東大総合文化研究科)
16:00～16:30	「科学の不定性と政策決定：政治学・行政学の視点から」	尾内隆之 (流通経済大学法学部)
休憩（お茶の時間）		
17:00～17:50	「信頼の危機と理科教育」	笠潤平（香川大教育）
17:50～18:05	「科学・技術と社会との界面で生ずる危機をどう学ぶか」	岡本正志 (京都教育大)
18:05～18:20	「中等理科教育における科学的リテラシーを育む授業の試み」	谷口和成 (京都教育大)
18:20～18:35	「東北大学における理科実験プログラム—文科系のための自然科学総合実験—」	関根勉(東北大学 高等教育開発推進センター)

～19:10	フリーディスカッション	
19:30～21:30	懇親会	

### ◆2月17日(日)

9:30～ 京都大学時計台記念館 会議室3		
9:30～10:30	「科学教育におけるトランスサイエンス教育： 市民教育として」	平川秀幸 (大阪大学コミュニケーション デザイン・センター)
10:30～11:00	話題提供	科学教育若手研メンバー等
小休憩		
11:10～12:30	科学教育の未来：法、市民リテラシー…	
解散 or 昼食 以下は希望者のみ。		

### ◆インフォーマルセッション

14:00～ 京都大学時計台記念館 会議室2		
14:00～18:00	インフォーマル・セッション	科学教育若手研究者、参加希望者。

#### インフォーマルセッションのご案内

ワークショップを受けて、更に内容を掘り下げてザックバランに議論する場を設けます。ご都合が付く方は自由にご参加ください。ただし、ワークショップに参加した方への参加に限定させていただきます。

議論するトピックをはじめ、インフォーマルセッションへのご要望一般は、事前、当日を問わず、オーガナイザーまでご連絡ください。

#### トピックス案

➤ ワークショップの講演や議論と Uncertainty Matrix など

オーガナイザー小林泰三(九州大学): Tkoba@cc.kyushu-u.ac.jp

JST-RISTEX「科学技術と社会の相互作用」領域・研究プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループ ワークショップ「科学の不定性と社会—法、技術、教育」事務局

電話：022-795-5823 メール：sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp